

令和 3 年度
ふれあい読書研究会
(まとめ報告書)



熊本県 P T A 連合会

令和3年度 ふれあい読書研究会

目次

☆令和3年度ふれあい読書研究会委嘱校

☆令和3年度委嘱校活動報告

1. 荒尾市立荒尾海陽中学校PTA
2. 玉名市立滑石小学校PTA
3. 大津町立大津南小学校PTA
4. 大津町立大津中学校PTA
5. 菊陽町立武蔵ヶ丘中学校PTA 未実施の為 辞退
6. 大津町立護川小学校PTA
7. 合志市立合志南小学校PTA R4年度 実施予定
8. 阿蘇市立一の宮小学校PTA
9. 御船町立七滝中央小学校PTA
10. 甲佐町立乙女小学校PTA
11. 天草市立有明小学校PTA
12. 天草市立栖本小学校PTA
13. 上天草市立松島中学校PTA
14. 上天草市立今津小学校PTA
15. 八代市立東陽小学校PTA
16. 芦北町立大野小学校PTA
17. 水俣市立袋小学校PTA
18. 芦北町立佐敷小学校PTA
19. 芦北町立佐敷中学校PTA
20. 人吉市立東間小学校PTA
21. 水上村立岩野小学校PTA

令和3年度ふれあい読書研究会委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	荒尾市	荒尾市立荒尾海陽中学校PTA
2		玉名市	玉名市立滑石小学校PTA
3		菊池郡	大津町立大津南小学校PTA
4		菊池郡	大津町立大津中学校PTA
5		菊池郡	菊陽町立武蔵ヶ丘中学校PTA
6		菊池郡	大津町立護川小学校PTA
7		合志市	合志市立合志南小学校PTA
8		阿蘇郡市	阿蘇市立一の宮小学校PTA
9		上益城郡	御船町立七滝中央小学校PTA
10		上益城郡	甲佐町立乙女小学校PTA
11	県南	天草市	天草市立有明小学校PTA
12		天草市	天草市立栖本小学校PTA
13		上天草市	上天草市立松島中学校PTA
14		上天草市	上天草市立今津小学校PTA
15		八代郡市	八代市立東陽小学校PTA
16		水俣市	水俣市立袋小学校PTA
17		葦北郡	芦北町立大野小学校PTA
18		葦北郡	芦北町立佐敷小学校PTA
19		葦北郡	芦北町立佐敷中学校PTA
20		人吉市	人吉市立東間小学校PTA
21		球磨郡	水上村立岩野小学校PTA

ふれあい読書研究会活動報告書

2021 年度

単位PTA名 (荒尾海陽中学校)	児童生徒数 (482) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50000円 単P 10000円 その他	(支出) 50000円 図書購入代 10000円 景品材料代、図書購入代
委嘱金で図書を購入。単P予算から景品代を支出、余りで図書を購入。	
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 クラス単位で読書に取り組めるように、40冊ずつ、計254冊の短編小説を購入した。ランキング形式で多くの本を読んだ上位の生徒に、司書の先生手作りのブックカバーなどを景品として進呈する。 生徒会文化委員会でも手作りのしおりを作成し、多くの本を読んだ生徒に配布する。	
◎成果 各クラスで朝読書の時間を設け、クラスの全生徒が同じ本を読むことができるようにしたこと、今まであまり本を読んだことがなかった生徒も、本を手にする機会を作ることができた。 読書数ランキングで、上位の生徒に景品を進呈することによって、司書の先生手作りのブックカバーや手作りのしおりを目標に、多くの生徒がたくさんの本を読むようになった。 また、図書室利用の促進にもつながった。	
◎反省 コロナ禍の休校や時短スケジュールによる授業時間確保のため、朝の読書時間を設けることが困難だった。来年度以降も継続して朝読書の時間や国語の授業などで時間を確保し、今年度購入した図書を活用していかなければならない。(今回購入した図書を思うように活用することができなかった。) 40冊ずつある本を図書室から教室へ持っていくのが大変だったので、タイトルごとに収納ケースを作成して持ち運びしやすいようにする。	
3. 今後の取り組みについて	
図書の数が少ないので、PTAからの予算で図書の購入をしていく。また、生徒たちが利用しやすいように本棚の増設などの図書室整備にも取り組んでいく。 天草市立有明小学校の「なりきり絵本作家コンクール」を参考(中間報告会での意見交換でも参考になった)にして、課題図書を設けて、その続編を生徒たちに書いてもらう、「(仮)続きはいったいどうなった??」コンクールを学校と協力して開催したい。 地域の方による読み聞かせも継続してお願いし実施していく。	
4. 要望・その他	
中間報告会に参加し、他の学校、PTAの読書に取り組む活動を知ることができ、とても参考になった。読書に限定した意見交換をする場はなかなかないので、このような活動はぜひ継続してもらいたい。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名（ 滑石小学校PTA ） 児童生徒数（ 105 ）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入） 県P	50000円	（支出） 書籍代	13000円
単P	20000円	ブックトラック	57000円
その他			

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ・肥後っ子いきいき読書アドバイザー事業
- ・図書室整備
- ・保護者による読み聞かせ

◎成果

- ・肥後っ子いきいき読書アドバイザー事業では、読書活動推進のための様々な方法や児童が利用しやすい図書室の環境整備についてのアドバイスをいただき、とても参考になった。
- ・図書室整備は、コロナ禍によるパソコン教室がいなくなった為、図書室を広くし、3密を避け、読書が楽しめるようになった。
- ・保護者による読み聞かせは、児童がより楽しめ、読書ができるよう本選びなどを工夫しながら取り組んだ。生徒たちからも好評であるため、ぜひ続けていきたいと思う。

◎反省

- ・今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、例年行っている読み聞かせが、10月まで実施できず、10月以降も毎週を月2回に変更し、児童と触れ合う機会があまり作れなかった。
- ・自ら進んで本を読む児童と、そうでない児童と個人差があるため、全ての児童が進んで本を読み、本に関心を持ってもらえるよう考えていきたい。

3. 今後の取り組みについて



- ・次年度も感染症対策を考慮しながら、読書の推進活動を勧めていきたい。
- ・学校だけでなく、家庭でも読書に親しむ児童が増えるよう、家庭と連携して読書活動を勧めたい。

4. 要望その他

- ・このような事業は、学校にとっても大変ありがたい。毎年応募できればと思う。
- ・本年度は、滑石小学校PTAに委嘱いただき心より感謝いたします。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (大津町立大津南小学校PTA)		児童生徒数 (199) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入) 県P 50,000円	(支出) ワイヤレスモバイル書画カメラ		47,300円
単P	B-コート貼り定規		1,170円
その他	ラベル剥がしキーパー用スクレーパー		504円
	ラベル剥がし 150ml		1,026円
		合計	50,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
(1) 児童による読み聞かせ「図書委員リレー読み聞かせ」 コロナ禍において保護者ボランティアの来校が困難なため、図書委員会の5・6年生の児童が給食時の放送による読み聞かせを実施。			
(2) 児童用教育用パソコン等を活用した読書活動の推進			
①「毎日5分間 物語読書チャレンジ」 夏季休業期間中の隙間時間を活用した5分間読書活動を実施 カレンダー(シート)に記録。 チャレンジした児童へしよりのプレゼント。			
②「クリスマス 読み聞かせプレゼント」 児童と保護者がお互いに読み聞かせプレゼント。 互いに感想を伝え合う親子ふれあい読書。			
(3) おおづ図書館「夢を育む創作絵本・物語」企画への参加 令和3年9月～10月、児童が絵本・物語の製作に挑戦。			
		 	
◎成果			
(1) 児童による読み聞かせ「図書委員リレー読み聞かせ」 コロナ禍により保護者の読み聞かせボランティアの活動が困難ななか、児童会活動として図書委員会の委員が昼の放送時間にリレー読み聞かせを実施した。選んだ本は、あまんきみこ作「車の色はそらのいろ」。委員は、情景を思い浮かべることができるよう工夫して読み聞かせを行った。黙食をしている児童は、楽しんで読み聞かせを聞くことができた。 12月には、クリスマスにまつわる絵本を4冊選び、毎日5分間の読み聞かせに挑戦しました。図書委員も楽しみながら読み聞かせを行うことができた。			
(2) 児童用教育用パソコン等を活用した読書活動の推進 1人1台(教育用パソコン)タブレット環境が整い、学校・家庭で電子図書館を活用することができるようになった。児童は、自分のタブレット端末から電子図書館に入り、好きな本、興味のある本等を借りて読むことができる。学校内での活用と併せて家庭におけるふれあい読書を推進した。 特に、夏季休業期間の読書チャレンジでは、多くの御家庭でタブレットを活用した読書活動に取り組んでいただいた。また、冬季休業期間には、親子で読み聞かせをプレゼントし合う「クリスマス 読み聞かせプレゼント」を企画している。御家庭でも温かい読書の輪が広がることを期待している。			
(3) おおづ図書館「夢を育む創作絵本・物語」企画への参加 図書委員会の委員が中心となって創作絵本に取り組むことができた。			
◎反省			
● コロナ禍で読み聞かせボランティアの取り組みができなかった。			
3. 今後の取り組みについて			
○委員会を中心とした、「本の読み聞かせ」活動の継続。			
○親子読書での「読み聞かせプレゼント」の実施。			
○年間を通じて、読書と絡めた折り紙制作。			
4. 要望・その他			
特にありません			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (大津中学校)	児童生徒数 (422) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円	(支出) 書籍代 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
① 本の読み聞かせ (朝礼前後の時間を使った読書・音読タイム)	
② ビブリオバトル (全校生徒対象、各クラス単位で一斉授業として行う。)	
③ 保護者・先生たちによるおすすめの本紹介 (アンケートを集計、校内掲示)	
◎成果	
① 生徒たちが自主的に本に親しむ時間を持てた。読む習慣の一端には慣れた。	
② ボランティアの方々にも協力を頂いたことで、ゲームもスムーズに進行できた。本を紹介し、その中で一番良いと思った本を決めるゲームなので、自主性・熟読量・プレゼン能力・理解度を高める上では非常に中学生の学習に即した活動となった。	
③ 子供に読ませたい、というだけではなく面白い！思うような本を紹介してもらった。校内掲示で皆の目につくところに置いたので、本に関心のある生徒を増やす一端にはなったのかと思う。	
◎反省	
コロナ禍ということもあり、対面形式での活動が順延や中止となった。学校の授業カリキュラムを阻害しない範囲でかかわっていかれたらと思った。 ただ、現状況の中で上記活動をできたのは非常に良かったと考えている。	
3. 今後の取り組みについて	
ゲーム形式などで楽しみながら本に関心を持ってもらう場を作っていきたいし、そこにはPTAだけでなく、全保護者の方の協力や参加が欠かせないと思った。 そのためのICTの活用であるといえるし、コロナ禍の中では絶好の機会なのではと考えている。	
4. 要望・その他	
貴重な予算を執行していただきありがとうございました。 今後もこの貴重な経験を生かして活動を継続していかれたらと考えております。	

ふれあい読書研究会活動報告書（最終）

令和3（2021）年度

単位PTA名（ 大津町立護川小学校PTA ）		児童生徒数（ 177 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）		
（収入）	県P 50,000円 単P 5,711円 その他	（支出） 55,711円
2. 活動内容・成果・反省		
◎活動内容 「ふれあいリレー読書」の実施 <実施内容> ・ 児童、PTA（保護者・教職員）にて選書 ・ 令和3年11月1日～11月30日の期間で実施 ・ 家庭で読み、感想等を記入して本と記録用紙をリレーする。 ・ リレー読書で選書された本や参加者の感想等をPTA新聞に記載し、地域の方とも共有する。		
◎成果 選書（別紙参照） 今回はこのような貴重な機会をいただきありがとうございます。コロナ禍において安全を最優先としたリレー読書を行いました。まず選書を児童およびPTAで行ったことでより多様な本に触れる機会になったと思います。 感想（抜粋） 「どうやって寝ぐせが出来るのか、楽しく読みました。久しぶりに子どもに読み聞かせて、二人で笑って、いい時間を過ごせました。」（3年・保護者） 「小さな命も命。その命をいただいて私たちは生きていることを感じられるとても良い本に出会えました。この本を選んでいただいた事に心から感謝します。ありがとうございました。」（2年・保護者） 「この本を読んでこれからは、もっと自信をもって発表してみようと思いました。」（5年・児童）		
◎反省 今回は、児童とその保護者のみのリレー読書となりました。コロナ禍で致し方無い部分ではありますが、地域の方とも共有体験を通してさらなるつながりを持てる事業になるよう検討していきたいと思っています。		
3. 今後の取り組みについて 今回の反省を踏まえ、今後は地域の民生委員・民生委員児童委員さんやボランティアで子どもたちの育ちを支えて下さっている方々ともリレー読書を行い、コロナが収束した際は読み聞かせ等の活動も再開していきたいと思っています。		
4. 要望・その他 読書離れが進む中、このような読書体験は本に触れ親しむきっかけになるとと思います。今後もこの事業を継続していただき、また機会があれば活用させていただきたいと思っています		



ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名（阿蘇市立一の宮小学校PTA）	児童生徒数（ 433 ）人
1 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 50,000円 単P その他	（支出） 50,000円 （書籍購入）
2 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・市司書と協力して、「絵本コーナー」を設置し、本校児童への周知。 ・本校保護者による読み聞かせボランティアグループ「夢ふうせん」の会員へ「絵本コーナー」設置の周知。 ・読み聞かせボランティアの方々による本の選定→読み聞かせ活動の充実へつなげる。 ・児童の読書活動の充実・促進。 	 <p>34冊購入し絵本コーナーを設置</p>
◎成果 <ul style="list-style-type: none"> ・購入した本を設置する「絵本コーナー」を新たに設置したことで児童の興味関心が高まり、本に親しむ機会が増加した。 ・特に低学年を中心に、人気が高まり、児童間の交流が深まった。 ・昼休みに図書室を訪れる児童数が増加し、読書に親しむ児童が多く見られた。 ・読み聞かせにも活用できるような本を選定したことで、職員による読み聞かせや、保護者ボランティアによる読み聞かせの際に、本の選定が容易になった。 	 <p>保護者ボランティアによる読み聞かせの様</p>
◎反省 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者ボランティアによる読み聞かせが取りやめになり、十分に活動できない期間があった。 ・本の購入が2学期になったこともあり、児童や保護者ボランティアが利用する期間が結果的に短くなった。1学期のうちの購入が必要であった。 	
3 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者ボランティアによる読み聞かせ活動を行っているが、題材となる本も選定し、ある程度の冊数があるので、地域人材への呼びかけなどボランティアの輪を広げていけるような活動。 ・図書委員会や司書と連携し、「おすすめの本紹介」など、さらに読書活動への関心を高めるような取組につなげる。 	
4 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・助成金のおかげで、学校図書館の利用者の増加、貸出冊数の増加など、児童の読書活動への意欲の高まりが見られました。 ・読み聞かせにも適している絵本の蔵書を充実させることができました。 ・今回の「ふれあい読書研究会活動」の委嘱をしていただいたことにより、児童が本に親しむ機会や、読書活動を通じて保護者と児童がふれ合う機会が増えました。委嘱していただきありがとうございました。 	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名（御船町立七滝中央小学校）		児童数（77）名	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P	0	（支出）
	単P	0	県P
	研究会	50,000	単P
			研究会
			50,000（本購入）
2. 活動内容・成果・課題			
○活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝の読書「全校読書」 ・図書バックを利用した、いつでもそばに本があるような環境づくり ・保護者や地域の方による本の読み聞かせ（週1回） ・読み聞かせの方々によるパネルシアター（12月実施、全児童参加） ・家庭での読書の推進（1週間/月：ノーメディアウィーク期間）中の「ふれあい読書」 ・教科書に紹介されている本や作者と関連した必読書の購入、図書委員会を中心とした啓発活動 ・物語に出てくる料理を給食（自校式）のメニューに採用 ・学年毎の必読書一覧カードの活用 			
			
			【パネルシアター】
○成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・購入した本を設置するコーナーを設けたことで、児童が本に親しむ機会が増えた。 ・毎日の朝の全校読書を行うことで、本を借りる児童の数も増えている。 ・「ふれあい読書」を行ったことで、家庭と連携して読書を推進することができた。 ・本に出てくる料理を給食のメニューに取り入れたことで、児童の本に対する関心がより高まった。 ・必読書の購入や最新の百科事典を購入することができた。 			
			
			【ふれあい読書カード】
○課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、時期によっては読み聞かせの活動を実施しない時期があった。 ・児童によるお薦めの本の紹介が集会ではなく、放送となった。 			
3. 今後の取組について			
<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会や学校司書と連携し、「お薦めの本の紹介」の充実を図り、児童が主体的に読書推進を図れるようにする。 ・読書コンクール等の充実を図る。 			
4. 要望・その他			
<p>ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、必読書などの新書を購入することができ、児童の読書環境を整えることができました。本購入のための予算が潤沢にあるとは言えず、読書研究会の取組に感謝いたします。ありがとうございました。</p>			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名	甲佐町立乙女小学校	児童生徒数	116人
1. 予算執行状況（収入・支出）			
(収入) 研究会	50,000	(支出) 本購入	50,000 (別紙参照)
合計	50,000	合計	50,000
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書展示や図書掲示を行い、図書に親しむ環境の充実を図る。 ・ 朝の読書や読書の時間での学校全体の継続した取組を図る。 ・ 読書月間での親子読書、職員によるお勧めの本の紹介などの活動の継続を図る。 ・ 必読書の読書ビンゴやタブレットによる読書ビンゴの取組を図る。 			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとの図書展示や図書掲示により、図書室に立ち寄ったり、本を貸し借りしたりする機会が増えている。 ・ 朝の読書や読書の時間の学校全体の取組により、学校を通じて読書に親しもうとすることや学年間の交流も増えている。 ・ 読書月間での親子読書や職員によるお勧めの本の紹介などの活動で、本への親しみを深めることができてきた。 ・ 必読書の読書ビンゴやタブレットによる読書ビンゴの取組で、難しい本や厚めの本にチャレンジしたり、ジャンルの違う本を読もうとしたりすることが多く見られるようになった。 			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書月間で、雨天時に図書委員によるエプロンシアターやパネルシアターを計画していたが、調整ができず、できなかった。 ・ 貸し出しや読書量に個人差や学年差があり、その差を縮めることができないでいる。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員会によるお勧めの本の紹介やエプロンシアター・パネルシアターを始め読み聞かせの活動 ・ 町図書司書と連携し、より一層の図書室の充実を図る。 ・ 各学年による図書室と国語を始め教科などを関連づけた読書活動の推進を図る。 			
4. 要望・その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい読書研究会の委嘱を受け、新書購入による読書環境の充実を図ることができました。特に不足している600、700、800の図書を購入ができ、国語科や総合的な学習での利用が期待できるものの充実ができました。児童が読書を親しむきっかけになった読書研究会の取組には、感謝しかありません。大変お世話になりました。 			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (天草市立有明小学校) 児童生徒数 (187) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 補助金 50,000円 (支出) 本代 50,000円
単P
その他

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ・地域ボランティアによる本の読み聞かせ活動
- ・年2回の保小中連携事業「家族みんなで読書&ノーマディアウィーク」の取組
- ・読書月間の取組 (図書委員会による読書クイズ・手作りしおり、読書運動会、コラボ給食、なりきり絵本作家コンクール)
- ・年間貸出冊数を低学年100冊、中学年70冊、高学年50冊と設定し、貸し出しを促す取組
- ・各学年の発達段階に応じた「課題図書でビンゴ」の取組
- ・並行読書の継続的取組

◎成果

- ・保小中で連携して実施した「家族みんなで読書&ノーマディアウィーク」では、保護者から「寝る前には読書をするようになった。継続して取り組んでいきたい。」「親子で読書することはなかったので、このような機会があってよい時間を過ごせた。」などの感想が寄せられた。児童からも「お家の人と一緒に本を読んで楽しかった。」など、読書を通して家族と楽しくふれあいながら過ごす時間をもつことにつながっていた。
- ・図書クイズや読書運動会などの様々な取組を計画することで、図書室へ来室する児童が増えてきた。
- ・学校司書と協力し、読書貯金カードを活用した読書量調査を行うことで、児童の実態を把握し、貸出を促す取り組みにいかすことができた。
- ・課題図書は、昨年度より冊数を減らし、ビンゴ形式で設定することで、楽しみながら本を借りることができた。課題図書を借りる児童も昨年度より増えている。

◎反省

- ・感染予防対策のため、後半は地域ボランティアの読み聞かせが実施できなかった。
- ・毎月貸出冊数や読書貯金の集計を行い、担任に知らせるようにした。図書室に行こうデーを設定し、来室を呼びかけているが、個人差が見られた。
- ・年2回の保小中連携事業「家族みんなで読書&ノーマディアウィーク」では、ほとんどの家庭で取り組んでいただいたが、その結果を保護者へお知らせすることができなかった。

3. 今後の取り組みについて

- ・学校、保護者、地域で連携して取り組めるような読書活動を計画する。
- ・児童の来室や貸出冊数がさらに、増えるような図書室にできるように整備を行っていく。
- ・保小中連携事業「家族みんなで読書&ノーマディアウィーク」の期間中に親子読書を呼びかけるなど工夫しながら継続していく。

4. 要望・その他

- ・ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、たくさんの図書を購入することができ、児童の読書意欲を高めることにつながった。今後も本に親しむ活動が充実するように努めていきたい。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名（天草市立栖本小学校PTA） 児童生徒数（73）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入）	県P 50,000円	（支出）	50,000円
	単P		（図書室及び教室図書環境整備費）
	その他		

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ・朝の読書活動（毎週水曜日）
- ・ひまわりの会による読み聞かせ（毎週金曜日）
- ・読書月間の取組（図書委員会等）
（ポップカード作成、ビンゴゲーム、しおり作り、和綴じ本作成、うち読推進）
- ・ひまわりの会による「お話会」の実施

◎成果

- ・毎週の読み聞かせの中では、いろんなジャンルの本を紹介していただくことで、子供たちは、本に対する興味関心が高まり、更に調べてみたり関係書籍を借りたりする姿が見られた。
- ・読書月間では、子供たちも積極的に期間中の活動に取組み、図書室への来室も多かった。年間貸出数は、2月の初旬の時点では、8,000冊程度で、平均すると1人100冊の貸出数である。
- ・学級の本棚等の購入により、図書の整理をすることができた。

◎反省

- ・読み聞かせボランティアへの参加を保護者へも呼びかけているが、なかなか希望が少ないのが現状である。活動等について更に広報をしていく必要がある。
- ・読書量については、学年差や個人差が大きい。読書月間だけでなく、各担任や保護者と連携した取組を工夫していくことや、子供たちの興味関心が高まるような取組の工夫をしていく必要がある。

3. 今後の取組みについて

- ・これまでの取組を継続していくと共に、子供たちの興味関心を高めていけるように図書室や教室の図書環境を整備していく。
- ・保護者の読書への関心を高める方策を学校と保護者が連携して取り組んでいけるようにしたい。

4. 要望・その他

- ・ふれあい読書研究会の対象校に委嘱して頂いたことで図書環境をよりよくすることができました。感謝申し上げます。
- ・中間報告会では、他校との情報交換や活動内容等について聞くことができ、大変勉強になりました。とても有意義な時間でした。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (上天草市立松島中学校)		児童生徒数 (158) 人		
1. 予算執行状況 (収入・支出)				
(収入)	県P	50,000円	(支出) 書籍費	45,155円 ①
	単P		掲示用物品費 (ブックエンド等)	3,300円 ②
	その他		掲示用物品費 (マジックペーン等)	1,545円 ③
	合計	50,000円	合計	50,000円
2. 活動内容・成果・反省				
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学生の多感な時期に触れてほしい本を、松島中推薦図書として選定し、学級文庫として常設する。その際、読書の個人差を考慮し、難易度のバリエーションをもたせた。 ○地域図書館との連携による「読書マラソン」に取り組んだ。 ○生徒会図書委員会の活動として、新刊本の紹介、長期休業中の本の貸し出しを行った。また、本の紹介POPコンテストを実施した。また、「図書便り」を作成し、生徒・保護者への啓発を行った。 ○教師によるおすすめの本の紹介を行った。 ○図書司書との連携で、魅力的な図書室の設営、掲示に努めた。 ○校長による読み聞かせを、集会時に行った。 				
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの図書室からの季節ごと配本での学級文庫に加え、各学級に常設することで読書への意識が高まった。 ○「読書マラソン」やPOPコンテスト、おすすめの本キャンペーンなどで、生徒の間で読書の話題が登ることが増えた。 ○カラフルな掲示等で魅力的な図書室設営ができている。 				
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読書の時間を日課に組み込むことができていないので、全校一斉に行う時間が単発的であった。 ○コロナ禍で、さまざまな行事等も短縮・変更の中で、読書に関わるイベント等を増やすことが難しかった。 				
3. 今後の取り組みについて				
<ul style="list-style-type: none"> ○読書は感染拡大の観点からも有効な時間の使い方である。読書の習慣が付き、生涯を通じて読書好きな生徒の育成をめざして保護者との連携も深めて取り組みたい。 ○コロナ禍で実施できなかった取組もあるが、実現可能で持続可能な、保護者や地域の方とのふれあいについても可能性を探りたい。 				
4. 要望・その他				
<p>○ふれあい読書研究会の対象校に委嘱していただき、感謝申し上げます。本校の読書活動の充実に大変ありがたい委嘱でした。今後とも、生徒を中心にしながら、保護者や地域の方との読書を通してのふれあいという観点も忘れず活動を続けていく所存です。</p>				

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (上天草市立今津小学校PTA)	児童生徒数 (195) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
【収入】 県P 50,000円 単P 164円 その他 0円	【支出】 図書購入費 50,164円
2. 活動内容・成果・反省	
【活動内容】 (1) 新刊を活用した読書推進の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「新刊お披露目」コーナー設置 ○ 国語科における並行読書 ○ わくわくハッピー本 ○ 大型絵本の読み聞かせ (2) 「読み聞かせ」による読書への関心を高める工夫 <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせグループ「しゃぼん玉」の皆様による児童への「読み聞かせ」 ○ 異学年・図書委員による読み聞かせ (3) 読書意欲を喚起する工夫 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級文庫の設置 ○ 図書委員会・職員によるおすすめの本の紹介 ○ 読書月間の取組 ○ SDGsコーナーの設置 ○ 上天草市「読書マラソン」の取組による、学校・家庭での読書活動推進 	
【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童には、読みたい本のアンケート、職員には、読ませたい・活用させたい本のアンケート調査を行い、興味・関心や必要性のある本を購入した。新刊のお披露目の工夫や並行読書での活用を行うとともに、学級文庫の設置や読書月間の取組によって、月別平均貸出数は、学校全体としては一人4冊以上になった。 ○ 「読み聞かせ」のグループによる児童への読み聞かせや異学年・図書委員による児童同士の読み聞かせにより、読書への関心が高まった。 ○ 市の「読書マラソン」の取組を、学校通信・図書室だより・学級通信・学校ホームページに掲載し、学校の図書室利用や市の図書館利用を促すことができた。 ○ 学校司書と連携を図ることで、活用しやすい図書室の環境整備を行うことができた。 ○ 図書委員会の活動で、読書を促すアイデアを生かした取組ができた。 	
【反省】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書委員会を活用した読書量増加につながる取組の活性化をさらに図っていくことで、学校全体の月別平均貸出数を一人5冊以上にする。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの「わくわく感」「読んでみたい感」を大切にしながら、学校全体でアイデアを出し合い、読書推進の取組を継続する。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあい読書研究会活動助成金を有効に活用することで、子どもたちの読書意欲を高めることができた。今後も読書推進に向け、取組を行っていききたい。 	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (八代市立東陽小学校PTA)

児童生徒数 (69) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入)	県P	50,000円	(支出)	50,174円
	単P	174円		
	その他			

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ①紙芝居舞台の購入
- ②児童の読みたい図書アンケート実施
- ③図書館の図書を購入
- ④図書館の新型コロナ対策用品の購入

◎成果

- ①紙芝居舞台の購入

町内のボランティアグループ「東陽小木曜の朝に」が行っている読み聞かせ活動は、本だけでなく紙芝居も行っており、そのための紙芝居舞台を購入。コロナ禍で活動できない期間が長く続いたが、10月より読み聞かせ活動を再開している。

- ②児童の希望図書アンケート実施

ICT教育の一環として、図書委員の児童がMicrosoft Forms を使い児童が読みたい図書のアンケートフォームを作成し、各児童は自分のPCからアンケートに回答。

- ③図書館の図書を購入

②のアンケート結果を参考に図書委員会委員と図書支援員で図書を選定して購入。(27冊)

- ④図書館の新型コロナ対策

新型コロナ感染防止対策用に手袋、除菌シートを購入。

◎反省

新型コロナの影響でボランティアによる読み聞かせの回数が少なかった。コロナ禍でもできる新しい取組み(オンライン読み聞かせなど)に挑戦してもよかった。

3. 今後の取り組みについて



東陽小学校では読み聞かせや、読書に力を入れており、協力するボランティア団体もあるので、今後、PTAも協力しながら、読書を通した子供たちの成長を後押ししていく。毎月14日,15日,16日に小中学校合同で実施しているノーメディアデーで、家庭で読書の時間をもうけることをPTAから推奨していきたい。

4. 要望・その他

初めて本事業に取り組みましたが、子どもたちの読書環境を充実させることができました。本校の取り組みを市内でも共有し、広げていきたいと思えます。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (芦北町立大野小学校PTA)		児童生徒数 (36) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P助成	50,000円	(支出) ①図書貸し出しバッグ
	特別会計	10,000円	②こども新聞
	計	60,000円	③親子論語教室
			④書籍代 (読書の旅)
			計
			10,500円
			3,300円
			17,500円
			19,007円
			50,307円
(残金) 9,693円は特別会計に戻しました。			
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
「親子で読書の気運を高める」			
コロナ禍で子どもたちが外出等の機会が減少している中、学校から室内でもできる読書を推進しようとの呼びかけに応じ、PTAとしてできること(①~③)を考えた。			
<ul style="list-style-type: none"> ①図書貸し出し冊数の増加 ②新聞を読むきっかけ作り ③親子講演会 (読書に関する) 			
<p>①については夏期休業中に学校の図書委員と10冊程度入る「貸し出しバッグ」作成を行った。</p> <p>②については「読売子ども新聞」を学校図書館に半年間読めるようにした。</p> <p>③については11月21日(日)に芦北町が進める「論語」を親子で学ぶ機会を設け、元RKK報道部アナウンサーの岩元克雄先生のお話を聞いた。</p> <p>④は学校での子どもたちの図書貸し出し冊数が1000冊達成した記念に「読書の旅」を学校が企画。PTAへの参加の呼びかけの呼びかけに応じ、見守りも兼ねて会長以下5名が参加した。</p>			
			
			
◎成果と反省			
<ul style="list-style-type: none"> ○家庭で「読書」が話題になり、子どもたちが自宅で読書をする姿が増えてきた。 ○学校の読書の取組がよくわかった。 ●「親子読書映画会」はコロナ禍で実現しなかった。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ○「第2回読書の旅」はPTA主導で実施したい。 ○本のリサイクルなど親子で読書を更に推進していきたい。 			
4. 要望・その他			
<ul style="list-style-type: none"> ○次年度のPTA活動の1つの柱として「親子読書」を新たに加える方向で準備しています。小さいPTAへの助成ありがとうございました。 			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和4年2月25日
水俣市立袋小学校

単位PTA名 (水俣市立袋小学校PTA) 児童生徒数 (171) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入)	県P	50,000円	(支出)	県P	講師・おはなし会謝礼	20,000円
	単P	9,239円			紙芝居購入	11,991円
	計	59,239円			備品購入・諸経費	14,589円
				単P	読み聞かせ謝礼	3,420円
					紙芝居購入	7,589円
					講師謝礼粗品	1,650円
				計	計	59,239円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

(1) 講演会・おはなし会の開催：10月23日(土)

講演会講師：NPO法人子育て支援ワーカーズペペペらん代表 高野和佳子氏
おはなし会：ペペペらんより 高野和佳子氏・椎葉信子氏



(2) としよまつり週間の開催：11月1日(月)～11月5日(金)

昼休み時間を利用し、1日は当校読み聞かせグループによる読み聞かせ、2日～5日は学年ごとに曜日に分け、図書イベントを開催し、後日スタンプラリーの景品を配布した。



(3) 家読(うちどく)の実施：11月1日(月)～11月5日(金)

各家庭で1冊好きな本を選び、親子・兄弟姉妹・家族で読んでもらった。その後、一緒に読んでみての感想や本のおすすめポイント等を、写真や絵を付けて募集するようにした。



(4) 紙芝居の購入

日本の昔話・海外の昔話・児童参加型の話・環境・道徳・生きる知恵等9冊の物語を購入した。紙芝居舞台を使用し、映像や絵本とも違う形での読み聞かせを実施する。



◎成果

- (1) たくさんの言葉を浴びる事は、子供たちの成長に大きな影響を与え、聞く力や生きる力、知恵が身につく事。また、大人が生きた言葉を子供たちへ伝える事の大切さをお話しいただき、参加された保護者の中には、涙を流しながら聞き入っている方もおられた。子育てを振り返り、考えるとても良い機会となった。
- (2) 子供たちの反応も大きく、嬉しそうな様子が伺えました。各イベントでは、ほとんど全児童が参加し、それぞれのコーナーが盛り上がっていた。子供たち、先生方、協力いただいた保護者全員が楽しめたイベントとなった。
- (3) 親子・家族の貴重な時間になり、一緒に本を読むことで子供の成長を感じ、子供の好きなものやきになっているものを改めて知ることができた。また、親子共々、読書を通じて大変楽しむことができ、親子のコミュニケーションが増えた。
- (4) コロナ禍ということで、実際に子供たちへ物語を届ける事が出来ていないが、日本の伝統文化とも言える紙芝居により、子供たちの「聞く力」「共感力」「想像力」「国語力」「文章力」の大切な力を育てていくようにしたい。

◎反省

- (1) コロナ禍での企画・運営となり、参加に消極的な保護者の方々に対してのアピールの仕方や、事前に講演会内容の周知等、もう少し工夫が必要だったと思う。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、学年別に分散して実施したため、日数が全4日間となった事で、委員会の負担が少し大きくなってしまった。
- (3) [家読]という活動自体があまり知られていないので、誰でも気軽に参加できるように、詳しい説明や活動が浸透していく為に出来る事を考える必要がある。

3. 今後の取り組みについて

- ・コロナ禍で中止となっていた読み聞かせ活動が、時間や回数等を工夫しながら再開し始めた。今後も限られた時間の中で、子供たちにたくさんの本と触れ合ってもらえるよう、より一層活動を充実させていきたいと思う。
- ・子供たちがワクワクし、何度でも行きたくなるような居心地の良い図書室になるよう、学校と協力し環境整備に努めたい。
- ・地域・学校・保護者と連携し、子供たちの読書推進に励んでいきたい。
- ・デジタル社会だからこそアナログの良さを感じ、子供たち自身の感性を伸ばしつつ、視野を広く持てるよう、デジタルとアナログを上手に融合しながら成長出来るような環境整備に取り組みたい。

4. 要望・その他

- ・ふれあい読書研究会の活動について知らない方が多く、とても良い活動なのでもっと周知できるようにしていただけると良いと思います。
- ・助成金をいただき、普段できないような活動をする事ができました。そのおかげで、コロナ禍で楽しみが減った子供たちにたくさんの笑顔がみられ、読書にも興味を持つ子供たちもふえました。また、保護者からも改めて読書の良さを感じた、子供に読み聞かせをするようになったと、嬉しい声も聞かれました。ありがとうございました。これからも、読書推進活動に努めていきたいと思っています。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (芦北町立佐敷小学校)	児童生徒数 (253) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P その他	(支出) 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>学校内の図書委員会にて読み聞かせ用の本を増刷して欲しいという意見が寄せられ、状況を把握しました。現在、ボランティアの方による本の読み聞かせを行っております。</p> <p>令和2年7月豪雨の影響もあり、本の種類もそう多くはなく、中ではボランティアの方自ら本を探して持ってきていただいている状況でした。</p> <p>そこで、本PTAでは、Googleフォームを使用しアンケートを実施し低学年、中学年、高学年と分けた本を導入したく調査を行いました。</p> <p>本は事前に学校より選定した大型の本のお中から、学年を分けたアンケートを実施することで、その時々 of 学年に見合った本を読み聞かせして欲しいという思いも伝わり、また、保護者も一体となって本を選定することで我が子とその本を聞いてみて、どのような感想を持ったか等、家庭内でもコミュニケーションの一つとなればとコロナ禍の中でも出来ることを行いました。</p>	
<p>◎成果</p> <p>当初アンケートの集まりが悪かったのですが、2回の周知で、投票数が多かった下記本を中心に購入させていただくことができました。</p> <p>中には、楽しみにしていますというような保護者の意見もあり本当に良い活動なんだと実感いたしました。大型の本を児童が目にもすることもなく、凄く楽しみに待っているところです。</p> <p>①ビッグブック うみの100かいだてのいえ ②読み聞かせ大型絵本 へんしんトイレ ③大型絵本 だじゃれ日本一周 ④大型絵本 だじゃれ世界一周 ⑤ビッグブック 100かいだてのいえ</p>	
	
<p>◎反省</p> <p>2月26日(土)に学習発表会を開催予定でその場で、本をご紹介させていただく予定でしたが、まんぼう期間中ということで中止となってしまい、保護者の方に周知できていない状況が続いています。そこで、広報誌やメールなどで周知を図っていきたいと考えております。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>令和2年7月豪雨の影響で、本棚も不足している状態ではございましたが、県P様のご協力もあり、地元木材をしようした本棚の制作にも取り掛かっており、3月中には設置完了予定です。</p> <p>今後はコロナ禍でも出来る読み聞かせの実施を検討しております。</p> <p>WEB配信による読み聞かせなどの取り組みが一番濃厚であり、児童が各自持参しているタブレットを最大限利用して、この度購入させて頂きました本を元に読み聞かせを行っていきたいと思います。</p>	
4. 要望・その他	
<p>この度は、補助をいただき読み聞かせの本を中心に購入させていただくことが出来ました。</p> <p>今後は、限られた活動状況下でも出来ることを最大限見出し児童のために役に立てさせて頂きます。</p> <p>ありがとうございました。</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (芦北町立佐敷中学校)	児童生徒数 (179) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P 0円 その他 0円 計 50,000円	(支出) 図書室本棚作成 材料代 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 (1) 読書週間の設定 (2) ボランティアによる読み聞かせ (3) 先生による読み聞かせ (4) 学級文庫の充実 (5) 図書室リニューアル	
◎成果 ・読書週間、学校での読書時間を設けることで、本に触れ合う機会が増え全校でビブルオパトルを開催するなど本への関心が高まった。 ・先生方の読み聞かせは、生徒たちにも好評だった。 ・朝の読み聞かせでは、読み聞かせボランティアを図書委員が教室まで案内し、礼儀正しい生徒の姿に毎回感心している。熱心に聴く姿勢が全学年通して身につけている。	
◎反省 ・コロナ禍ということで、予定していた活動が制限されてしまい残念だった。 ・学級文庫の充実の為に保護者からの本の貸し出し依頼をお願いしたが返答が少なく、読み聞かせボランティアの方からの貸し出しが多かった。 ・月1の家庭での親子のふれあい読書デーはメール等で呼びかけたが、取り組みには個人差があり全体で取り組めたという達成感には届かなかった。	
3. 今後の取り組みについて	
・今年度、図書室を広げる予定だったが延期となり、次年度に引継ぎ図書室リニューアルを計画していきたい。 ・町の図書館等を参考にして、生徒たちが利用しやすい環境に努めていく。	
4. 要望・その他	
・助成金を図書館の本棚作成に使わせて頂き、3台の手作り本棚が完成しました。完成した本棚に本を並べ生徒が利用しやすいように活用したいと思います。感謝申し上げます。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (人吉市立東間小学校) 児童生徒数 (297) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 50,000円 (支出) 書籍代 50,000円
 単P
 その他

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ・毎週火曜日朝の読書の時間を利用して、ボランティアによる読み聞かせを計画 (1～4年生)。しかし、市PTAの取り決めとしてコロナのリスクレベル4以上の場合はPTA活動を自粛ということもあり、ボランティアによる読み聞かせは実質12月から開始した。
- ・一昨年度までは、各クラスの子供たちが机を後ろに下げ、みんなが前に集まって絵本を聞くというスタイルでしたが、コロナ感染拡大防止として、各自の机に座って聞くスタイルになったため、大型絵本や紙芝居、書画カメラの活用を行った。
- ・コロナのリスクレベルが3に下がったことを受け、11月に初めてボランティアをされる方と経験者も交えて説明会を行った。
- ・初めてのボランティアの方に対して、各クラスにて読み聞かせをしている様子を見学できる機会を設けた。
- ・ボランティアが読み聞かせできない時期は読書週間に合わせて図書委員の子供たちが2人1組となり下級生 (1～2年) へ読み聞かせを行った。また、ZOOMを使用して給食の時間にも絵本を読むことができた。
- ・読書週間が終わった後も、6年生全員が下級生への読み聞かせを実施した。
- ・学校図書担当の先生と図書委員で読書への興味関心を高めるためスタンプラリーやおすすめの絵本の紹介などの取り組みを行った。

◎成果

- ・コロナリスクレベルとのにらめっこの時期もありましたが、その時期を利用して、児童間の読み聞かせの実施へとつながった。図書委員の子供たちも、下級生へ読み聞かせをするという初めての試みに緊張しながらも読む本を選んだり、見やすいように工夫し練習をしていくうちに自信がついていき、楽しみながら達成感へと繋がった様子でした。また、下級生も真剣に聞いており、学校内での関係性向上に少しは繋がったのではないかと思います。
- ・約1年半ぶりにボランティアの読み聞かせを実施し、子どもたちもいつもと違う雰囲気での絵本を見れたのではないかと思います。お互い、緊張していましたが、絵本への興味を引き出せたらと思います。

◎反省

- ・現在保護者ボランティアが21名。保護者OBや地域の方も読み聞かせをしたいという声がありますが、まだ実施には至っておらず、コロナリスクレベルが下がったらすぐに実施できるように計画を立てていけばよかったです。
- ・今年度は初めて読み聞かせをする保護者が8名おり、1年生に多く、お子さんのクラスに入れないこともあった。
- ・書画カメラの活用については、担任の先生に使い方を教えてもらえますが、使い方になれておらず、戸惑う場面もありました。

3. 今後の取り組みについて

- ・保護者ボランティアや保護者OB・地域の方からの読み聞かせは継続して行っていきたい。また、読み聞かせの活動をより多くの方に知っていただき、参加を呼びかけて全学年への読み聞かせの実施へとつなげていきたい。
- ・中間報告会で他校の取り組みを知り、今後東間小でも取り入れていけるように検討する。

4. 要望・その他

今回参加させていただき、中間報告会でのほかの学校の取り組みや読書に対しての熱心な活動・想いを知り、大変刺激を受けました。今後も学校とPTAと協力をしながら子供たちの読書への興味・関心を広げられるよう関わっていけたらと思います。
 ありがとうございました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (水上村立岩野小学校)		児童生徒数 (70) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	50000円	(支出)
	単P	0円	書籍代
	その他	0円	図書代
	計	50000円	計
			28446円
			21554円
			50000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
(1) 保護者及び地域の方による読み聞かせ (10月から毎週火曜の朝活動で)			
(2) ファミリー読書 (5月と10月に実施)			
(3) 教職員による「おすすめの本」の紹介 (5月と10月に実施)			
(4) 図書委員会の児童による読書旬間の取組 (10月の昼休みに実施)			
・読み聞かせ、クイズ、おすすめの本の紹介			
◎成果			
・コロナ禍で昨年度実施することができなかった「保護者及び地域の方による読み聞かせ」を10月から再開し、児童も毎回楽しく聞くことができた。保護者や地域の方も意欲的に協力していただいた。			
・教職員による「おすすめの本」の紹介やファミリー読書については、図書室での掲示や給食時の放送等で発信し、児童の読書意欲を高めることができた。			
◎反省			
・読み聞かせについては、3学期に新型コロナウイルス感染症が急拡大し、再度中止することとなり、残念であった。また、共働きの家庭の増加や地域の高齢化で、読み聞かせをしていただく方の人数確保が難しくなっている。			
・図書委員会の取組は、児童の主体性を高めたり、発信力を高めたりする工夫が必要であった。			
3. 今後の取り組みについて			
(1) 保護者や地域の方による読み聞かせ活動の再開、関係機関と連携した協力者の確保			
(2) ふれあい読書に係る各取組の校外への発信 (学校ホームページや村広報の活用)			
(3) テーマ読書や読書郵便 (おすすめの本を他の友だちに読んでもらう) の実施			
4. 要望・その他			
・ふれあい読書研究会の委託を受けたことで、安心・安全な環境下での読み聞かせ活動の実施、そして、新しい図書の購入による読書環境の充実や読書意欲の向上を図ることができた。心より感謝申し上げます。			

ふれあい読書研究会

令和4年3月31日発行

熊本県PTA連合会

会	長	田中	万里
家庭教育担当副会長		古澤	美和
家庭教育委員長		橋本	昭